

前歯部欠損補綴の トリートメントデザイン

〈著〉小川勝久(東京都開業)／木本克彦(神奈川県歯科大学大学院)

技量に合わせてエステティックに“デザイン”

近年、上顎前歯部の少数歯欠損に対し、インプラントが第一選択とされつつある。しかしながら、従来の固定性ブリッジ、そして接着性ブリッジ等の長短も併せて説明し、選択の幅を広げることで、患者満足度の向上はもちろん、トラブルの回避にも繋がる。

本書は、補綴治療オプションとそれに伴う補綴前処置の付加的手技を点数化し、かつ術者の技量を評価する“自己チェックリスト”を収載。術者個々人の技量と患者の希望に合わせた、よりよい治療計画をデザインできる1冊。



CONTENTS

1章 前歯部欠損補綴の治療オプション

- 補綴治療と補綴前処置の重みづけ(点数化)

2章 診査・診断と治療計画

- 前歯部欠損における診査・診断、補綴治療の選択
- 治療計画書の作成

3章 審美性のための補綴前処置

- 抜歯と周囲骨を温存させるために必要な器具・器材と手技
- ソケットブリザベーション
- 矯正の挺出を応用した抜歯前の配慮 他

4章 接着性ブリッジの臨床ポイント

- 接着性ブリッジのストラテジー
- 症例1:メタルフレームのケース
- 症例2:ジルコニアフレームを応用したケース① —CTGの併用 他

5章 固定性ブリッジの臨床ポイント

- 固定性ブリッジのストラテジー
- 抜歯を伴うケースでの対応
- 症例1:陶材焼付金属冠ブリッジを応用したケース 他

6章 インプラントの臨床ポイント

- インプラントのストラテジー
- 症例1:骨移植とCTGを応用したケース
- 症例2:矯正治療を応用したケース 他

7章 安易なインプラント選択への警鐘

- 抜歯即時埋入インプラントの問題点
- フラップレス抜歯即時埋入インプラントの問題点
- 上顎前歯部における骨移植 他



A4判・148頁・オールカラー
本体9,000円+税

